

北海道浮魚ニュース

令和元(2019)年度 3号

2019年5月20日

道総研 釧路水産試験場

ホームページ <http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/shigen/ukiuo/index.html>

◎サバ類・マイワシ漁場調査結果

サバ類は 20 cm前後, マイワシは 16~17cm 台が主体

ロシア主張 200 海里内でのさけ・ます流し網漁業の代替として始まったサバ・イワシ棒受網漁業へ漁場情報を提供するため、調査を実施したのでお知らせします。

調査期間：2019年5月13~17日

調査方法：海洋観測および表中層トロールによる漁獲試験（約1時間曳網）

調査海域と調査点：道東太平洋の6点（表1, 図1）

1. 水温分布（表1, 図1）

表面水温 10℃以上の黒潮系暖水が、東経 143~145 度で北緯 39 度付近まで、根室半島南方では北緯 40 度 30 分付近まで北上しています（図1）。表中層トロールを実施した調査点（図1の黒丸）の表面水温は 8.5~13.3℃でした（表1）。

2. 漁獲尾数（表1）

6 回の表中層トロールによってサバ類、マイワシがまとまって漁獲されたのは北緯 41 度以南の調査点 1, 2 のみでした。サバ類の総漁獲尾数は 749 尾で、最も多かったのは調査点 2 で 418 尾、次いで、調査点 1 で 324 尾でした。マイワシの総漁獲尾数は 1,396 尾でした。最も多かったのは調査点 1 の 1,070 尾で、釧路沖の北緯 42 度 30 分付近（調査点 5, 6）にも 10℃前後の暖水が存在しましたが、漁獲されたのはサバ類 1 尾のみでした。なお、カタクチイワシとサンマは漁獲されませんでした。

3. 体長組成（図2, 図3）

サバ類の尾叉長は、調査点 1, 2 とともに 20 cm前後が多く、調査点 2 では 25 cm以上の個体も混じていました（図2）。全調査点合計では 20cm 前後が主体でした（図3）。

マイワシの体長は、調査点 1 では 14 cmと 15-17 cm, 調査点 2 では 16-17 cmと 19cmが多くなっていました（図2）。全調査点合計では 16-17 cmが主体でした（図3）。

昨年の漁獲物と比べると、今年のサバ類では、25cm 以上の個体が大幅に減り、昨年見られなかった 20cm 前後の個体が多くなっていました。マイワシでは、20cm 前後の割合が大幅に減っていましたが、16-17cmの割合が増加していました（図3）。

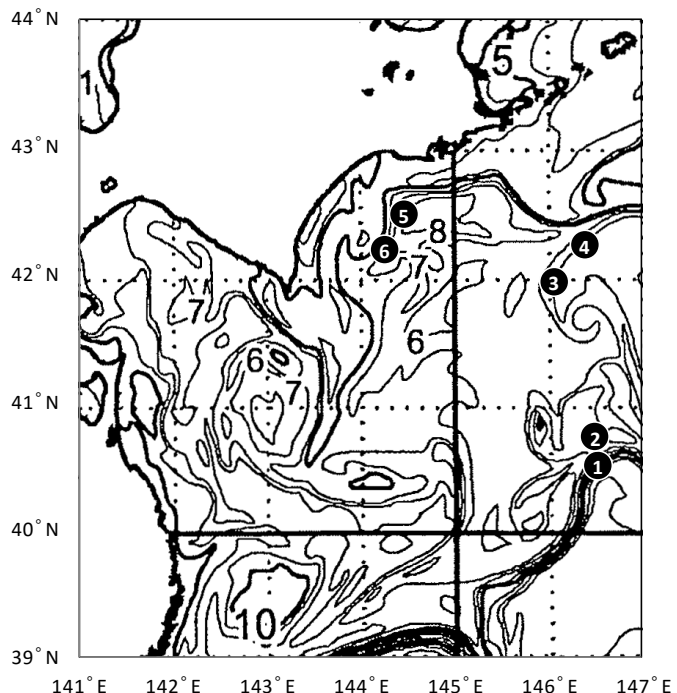


図1 2019年のマサバ・マイワシ漁場調査における調査点（黒丸）と調査点番号（白字）（漁業情報サービスセンターの5/12-13の水温図を改変）

表1 2019年のサバ類・マイワシ漁場調査の結果

調査点 番号	調査日	位置		水温(°C)			漁獲尾数			
		北緯	東経	0m	20m	50m	サバ類*	マイワシ	カタクチイワシ	サンマ
1	5/14	40-30	146-31	13.3	12.7	10.0	324	1,070	0	0
2	5/14	40-43	146-30	10.0	6.3	1.1	418	324	0	0
3	5/15	41-58	146-04	8.9	8.1	5.4	6	2	0	0
4	5/15	42-13	146-23	8.7	6.6	3.3	0	0	0	0
5	5/16	42-27	144-27	8.5	7.8	8.2	0	0	0	0
6	5/16	42-11	144-15	10.0	9.3	8.3	1	0	0	0
合計							749	1,396	0	0

*サバ類にはマサバとゴマサバが含まれます

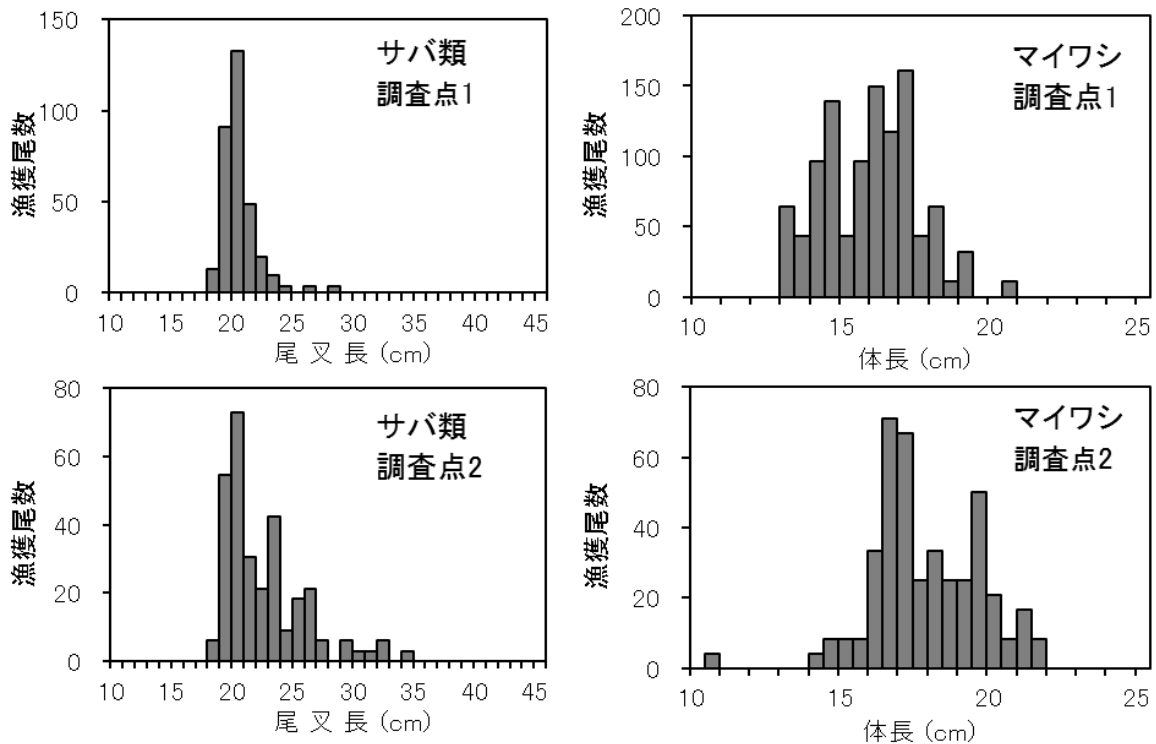


図2 2019年に主な調査点で漁獲されたサバ類(左)とマイワシ(右)の体長組成

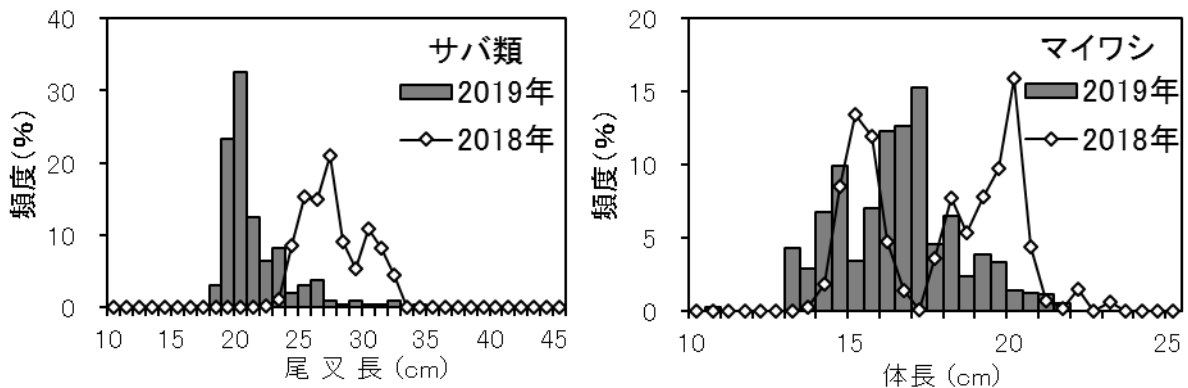


図3 全調査点合計のサバ類およびマイワシの体長組成

(釧路水産試験場調査研究部, TEL:0154-23-6222, FAX:0154-23-6225)